



## 事業所における自己評価総括表

事業所名	おもちゃ箱まちだ（放課後等デイサービス）			
保護者評価実施期間	2026年 1月 20日		～	2026年 2月 7日
保護者評価有効回答数	(対象者数)	36人	(回答者数)	13人
従業者評価実施期間	2026年 1月 20日		～	2026年 2月 7日
従業者評価有効回答数	(対象者数)	7人	(回答者数)	7人
事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 31日			

### ○ 分析結果

	事業所の強みだと思われること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	自己選択・自己決定を育てる支援	自分で選び、決める経験を大切にしています。活動で使用する教材、役割などについては、具体的な選択肢を提示し、無理なく選べる環境を整えています。	「自分で決めた」という実感につなげて選んだ結果についても尊重し、うまくいった場合だけでなく難しかった場合も振り返りながら、主体性や自己決定の力が育つよう支援していく。
2	個別活動と集団活動を適切に組み合わせている	子どもの特性やその日の状態に応じて個別活動と集団活動を組み合わせ、個々の課題と社会性の両面を育てられるよう工夫している。	個々の特性や集団での様子をより丁寧に分析し、職員間で共有を深めながら、活動内容の見直しとバリエーションの充実を図り、より効果的な組み合わせができるよう改善していく。
3	職員の意見を業務改善につなげている	定期的なミーティングや日々の振り返りの中で職員の意見を共有し、具体的な改善策を検討・実行することで、業務改善につなげている。	意見を出しやすい環境づくりをさらに進めるとともに、改善内容の進捗や成果を見える化し、継続的な振り返りと検証を行っていく。

	事業所の弱みだと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	放課後児童クラブなどとの交流が少ない	放課後児童クラブや児童館と子どもの利用時間帯が重なっており、職員同士が落ち着いて打ち合わせや交流を行う時間を確保しにくいことが要因である。	子どもの利用時間外や長期休暇期間を活用して調整の機会を設けるとともに、電話やオンライン等も活用しながら、無理のない形で連携体制を整えていく。
2	第三者評価の実施が少ない	日々の支援体制の整備や内部改善を優先してきたため、第三者評価の導入に向けた情報収集や調整まで十分に進められていないことが要因である。	第三者評価に関する情報収集を進め、実施時期や方法を具体的に検討するとともに、外部機関の助言を積極的に取り入れる体制を整えていく。
3	ペアレントトレーニング等の実施が少ない	個別相談対応を優先してきたことや、保護者の就労等により時間調整が難しいことから、体系的なペアレントトレーニングの企画・実施まで十分に至っていない。	短時間・少人数で実施できる形式やオンラインの活用など、参加しやすい方法を取り入れながら計画的に機会を設定し、段階的に実施体制を整えていく。